

心不全実習アセスメント・報告テンプレート集

成人看護実習で心不全患者を受け持つときに、観察・アセスメント・報告・退院指導を短時間で整理するための実用シートです。実習記録、カンファレンス、指導者への報告前に確認してください。

1. 心不全アセスメントチェックシート

観察項目	見るポイント	記録・報告につなげる視点
呼吸状態	呼吸数、SpO2、息切れ、起坐呼吸、会話のしやすさ、肺雑音	SpO2だけでなく、呼吸仕事量と前日差を見る
体重	毎朝同じ条件、前日差、数日間の増減	急な増加は水分貯留を疑う
浮腫	部位、左右差、圧痕、靴下跡、仙骨部、皮膚状態	体重・尿量・呼吸状態とセットで見る
水分出納	摂取量、尿量、利尿薬後の尿量、口渴	体内に水分が残っていないか考える
利尿薬	尿量、血圧、ふらつき、Na/K、BUN、Cr、eGFR	効果と副作用を天秤で評価する
活動量	歩行距離、階段、入浴、活動後の息切れと回復時間	無理なく活動を広げられるか見る
生活背景	食事準備者、服薬管理、体重計、受診手段、家族支援	退院後に続けられる方法を考える

2. 指導者への報告テンプレート

体重増加がある時

本日朝の体重は昨日より__kg増加しています。下腿浮腫は__、尿量は__mLで、息切れは__です。水分貯留の可能性を考え、摂取量と利尿薬後の尿量も確認しています。

息切れが強い時

SpO2は__%ですが、呼吸数__回/分で、会話時に息切れがあります。臥位で苦しさが増す訴えがあり、肺雑音と浮腫の有無を確認しました。心不全増悪の可能性を考え報告します。

利尿薬後にふらつきがある時

利尿薬後の尿量は__mLです。立位時にふらつきがあり、血圧は__/_mmHgでした。脱水や電解質異常の可能性も考え、Na、K、BUN、Crを確認したいです。

退院後の生活が不安な時

退院後は__が食事を準備する予定です。服薬管理は__で、毎日の体重測定は__です。塩分制限と受診継続に支援が必要と考えました。

3. 退院指導チェックリスト

項目	患者と確認すること	学生メモ
食事	塩分制限の理由、汁物・漬物・惣菜・外食の頻度、誰が調理するか	
水分	水分制限の有無、飲み物の数え方、口渇時の工夫	
体重	体重計の有無、毎朝同じ条件で測定できるか、増加時の相談先	
服薬	薬の目的、飲み忘れ対策、利尿薬を避ける場面の有無、副作用の理解	
活動	買い物、階段、入浴、休息の取り方、息切れ時の対応	
受診	受診日、交通手段、相談できる家族・支援者、異変時の連絡先	

4. カンファレンス発言例

- ・ 体重増加、下腿浮腫、尿量低下があり、水分貯留の可能性を考えました。
- ・ SpO₂は保たれていますが、呼吸数増加と会話時息切れがあり、観察を継続します。
- ・ 尿量は増えていますが、ふらつきがあるため、脱水や電解質異常にも注意します。
- ・ 退院後は惣菜が多い生活背景があり、塩分制限を続けるための具体的な支援が必要だと考えました。

このシートは、患者の状態を決めつけるためではなく、観察した事実を根拠ある報告につなげるために使います。異常や不安がある場合は、必ず指導者・看護師へ相談してください。